

放送作家情報

2010/9/20

Vol. 24

発行／社団法人 日本放送作家協会

編集／広報委員会

〒 106-0032 東京都港区六本木6-2-5ハラビル

☎ 03-3401-5996 FAX 03-3408-7411 E-mail to: info@hosakkyo.jp

新しい組織になりました！

新理事長に 秋元 康氏 就任

平成22年6月より新執行部が選出され新理事長に、秋元康氏が就任しました。
市川森一前理事長は5月の総会において、定款第5章第22条により、会長に推薦され、就任しました。

◇執行部

- 理事長 秋元 康
- 常務理事 香取俊介、田中 格、福岡秀広
- 理事

岡本 栄、奥山恍伸、熊谷知津、栗田進二、さらだたまこ、城 啓介、東海林 桂、杉原秀一、鈴木おさむ、高須光聖、高谷信之、鳴海昌明、羽田野直子、福井貞則、藤森いずみ、南川泰三、三原 治、山崎 純、山西伸彦、山本 優、吉村ゆう

- 監事 上滝徹也(外部)、藤久ミネ

◇委員会

- 規約委員会 三原 治(長)
- 財務委員会 田中 格(長)
- 広報委員会 さらだたまこ(長)
- 企画事業委員会 吉村ゆう(長)
- 公募事業委員会 藤森いずみ(長)
- 放送を考える委員会 城 啓介(長)
- 日本脚本アーカイブズ特別委員会 香取俊介(長)

◇支部

- 北海道支部 合田一道(支部長)、菊池寛(事務局長)、伊藤桂子(監事)
- 中部支部 芳賀倫子(支部長)、沖井千代子(事務局長)、伊佐治弥生(監事)
- 関西支部 藤本義一(支部長)、古川嘉一郎(事務局長)、疋田哲夫(監事)
- 中国支部 長谷井杏亮(支部長)、野津聖治(事務局長)、法安桂子(監事)
- 九州支部 香月隆(支部長)、高本和子(事務局長)、舟越節(監事)

◇事務局

放作協活動報告

2009年9月～2010年8月

社団法人 日本放送作家協会 創立50周年記念

放送作家たちの50年

50 YEARS of TELEVISION & RADIO WRITERS

創立50周年事業／脚本展／出版／ETV特集

2009年9月18日に創立50周年を迎えた放作協は、50周年記念事業として、新宿・「芸能花伝舎」を会場に、9月18日～23日、脚本展とシンポジウムを開催。開催に際し、「50周年記念特別プロジェクト」が結成され、脚本展は主に日本脚本アーカイブズ特別委員会、シンポジウムは主に放送を考える委員会が中心となって手がけました。

また、NHK出版とのコラボレーションで『テレビ作家たちの50年』（写真右）を上梓。放作協の多くの会員が寄稿し、50数年のテレビ史における放送作家の役割を記したクロニクルを形にしました。（放作協会員に1冊ずつ贈呈しています。在庫のお問合せは事務局まで）

さらに、50周年の脚本展に関連し、江戸東京博物館より脚本展の依頼があり、ラジオ放送の黎明期に遡って、放送劇作家の登場をもって放送作家の嚆矢とし、現代までの「放送作家の80年」をまとめた企画展『ザ・脚本展』を2010年4月6日～18日、開催しました。

加えて、50周年を記念して企画した、放送作家の鼎談「トライアングルトーク」がNHK教育テレビのETV特集で放映されました。

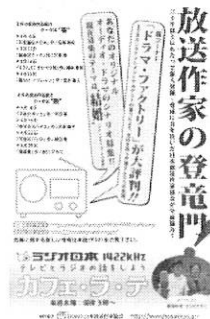
九州支部においても、50周年記念事業として、2010年2月9日～10日、九州小劇場で『南のシナリオ大賞朗読劇公演』が行われました。



新人育成にも一役！

カフェ・ラ・テ『ドラマ・ファクトリー』（RFラジオ日本 JORF1422Hz 毎週木曜 深夜3時～4時）

2007年秋にスタートしたラジオ番組『カフェ・ラ・テ』。日本放送作家協会の制作協力による放送作家による、放送作家の目から見たラジオやテレビの面白話をくりひろげる番組。ゲストには放作協の会員も多く出演し、放作協の活動の告知も盛り込み、放作協の広報番組としても機能しています。また放送した内容は、月刊「ドラマ」誌（映人社）に、『カフェ・ラ・テの庭で』として連載しています。番組は、放送作家や脚本家志望のリスナーが多く、『2010年1月より6月まで、10分間のラジオドラマ『ドラマ・ファクトリー』のコーナーを新設。オリジナル脚本募集をリスナーに呼びかけたところ、半年でおおよそ400通の応募がありました。ドラマ化にあたっては、半年間で24本の脚本を採用し、さらに3作の優秀賞、1作の最優秀賞脚本を月刊「ドラマ」誌に掲載。未来のドラマ業界を支える新人発掘・育成支援となっています。加えて、俳優養成所 JTBエンタテインメントアカデミーの協力を得て、声優の卵達が出演することによって『ドラマ・ファクトリー』は、新人登竜門番組として認知され、好評につき、来る10月より半年間、シーズン2企画として再開にむけ、現在シナリオ募集も始めています。



日本脚本アーカイブズ 準備室 〒120-0034 東京都足立区千住5-13-5 学びピア21 5階

TEL: 03-3882-1071 FAX: 03-3882-1073 メール nka@star.ocn.ne.jp

放作協では、散逸した放送台本の収集・保存、及び、デジタルアーカイブ構築にむけて、日本脚本アーカイブズ特別委員会を設け、足立区の「学びぴあ」内に準備室を開設しています。2005年10月以来、活動を続けて、2009年度末までに収集した台本数は約35000冊。2010年3月に、「平成21年度 日本脚本アーカイブズ調査・研究報告書【V】～人類の記憶の鏡として～」をまとめ、放作協会員全員に配布しました。

脚本アーカイブズでは、世界各国のアーカイブズ機関の取材を重ねてきましたが、調査報告書【V】では、2010年1月12日～16日、実施された北京取材の報告が掲載されています。

また、日本脚本アーカイブズでは、メールマガジンを発行しています。どなたでも登録して無料で購読できます。なお、台本寄贈などの送付先、お問い合わせは上記まで。

創作ラジオドラマ大賞／創作テレビドラマ大賞

3月に第38回創作ラジオドラマ大賞の選考が終了。現在第39回 創作テレビドラマ大賞の応募作品を審査中。

今秋には第39回創作ラジオドラマ大賞の募集が開始、それに伴う公開講座も開催の予定。

※協会員が審査、公開講座の講師、表彰式の進行を担当します。

脚本等の講座

放送作家協会の会員が講師として指導する講座です。後進を育て、放送文化の向上に寄与するとともに、放送作家のノウハウをもって広く社会に貢献する目的も伴っています。

- 諫早図書館シナリオ講座：市民講座 朗読劇もしくはラジオドラマの脚本指導と演出。
- テレビ朝日アスク「放送作家養成コース」：プロ養成のためのカリキュラム作成と指導。
- 東京フィルムセンターオブアート専門学校：プロ養成のためのカリキュラム作成と指導。
- 西東京市柳沢公民館「お笑い講座」：市民講座 漫才、コント台本指導。

※各支部でも養成講座が開催されています。

支部の活動

北海道支部「北のシナリオ大賞」「シナリオ実践教室」／中部支部「中部テレビ大賞」／関西支部「心齋橋大学」、「関西ディレクター大賞」、「ぶっちゃけトーク」／中国支部「ラジオドラマ制作指導育成協力」／九州支部「南のシナリオ大賞」「一支国弥生まつり」など。

サイトのご案内 関西支部心齋橋大学 <http://www.shinsaibashi-daigaku.jp/>
九州支部 <http://writers9sib.org/>

ラジオの会 radio.no-kai@softbank.ne.jp

放作協が後援している「ラジオの会」の活動は、年1、2回を目標に「制作者セミナー」を開催しています。

2010年は3月にVol.8「民放ラジオの世界」と題し、TOKYO—FM制作のラジオドラマ『あ、安部礼司』の制作スタッフを講師に、民放ラジオにおけるドラマ作りの現状と展望を話し合いました。

ラジオの会は放送作家、制作スタッフ、OB、将来ラジオで仕事をしたいと考えている学生など、音声メディア番組の質の向上を目指す志のある方々が会員になっています。入会などお問い合わせは上記メアドまで。

放作協の活動は、主にHPやブログを通じて発信します。HPの使い方は次頁





地球上どこにいてもネット
でつながる
放作協のホームページ

検索ワードは
放作協

<http://www.hosakkyo.jp>

ホームページガイド ※ 最新の話題や更新情報は、TOPページでご案内しています。
※ 放作協事務局でもHPが閲覧できます。お気軽にお問い合わせください。

会員専用のページ

毎月の理事会報告や、総会の報告、その他、会員向けの情報をお知らせしています。
会員専用ページを閲覧するには、ユーザー名とパスワードが必要です。
開設時・入会時に会員の皆様にはお知らせしましたがお忘れの場合は事務局にお問い合わせください。

Link 広報ブログ

<http://blogs.yahoo.co.jp/japanhosakkyo/>
放作協の活動について、随時お知らせをしています。併せてご覧ください。

Link 広報ラジオ

<http://jhosakkyo.exblog.jp/>
広報番組「カフェラテ」の放送アーカイブ用ブログです。併せてご覧ください。

Link 日本脚本アーカイブズ

<http://www.nk-archives.com/>
放作協の脚本収集・保存、調査・研究活動を報告する専用サイトです。併せてご覧ください。

日本放送作家協会では、ホームページを通じて、広報活動を行っています。
この「放送作家情報」は、ホームページを閲覧される機会の少ない会員の皆様に、放作協の活動の記録をピックアップして、要点をまとめご報告する活動レポートです。今号は、主に昨年9月～今年8月までに実施された協会の主な活動についての報告です。より詳しい内容につきましては、ホームページ内に掲載されていますが、事務局にお問い合わせいただければ、担当が対応いたします。お気軽にお問い合わせ下さい。

会員資格・入会のご案内

日本放送作家協会には、放送された著作物が2本以上ある放送作家、放送文化向上に関わる著作物を2作品以上有する文筆業の方に入会資格があります。
なお入会には協会員2名の推薦が必要です。新規会員をご紹介いただける場合は、放作協事務局までお問い合わせください。